

農地・水・環境保全だより第46号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

活動組織の紹介

◆ 本郷地区を守る会（いなべ市）

設立 2007年（平成19年）
取組面積 田：51.59ha 畑：0ha
主要施設 開水路：12.7km 農道：7.4km

近年の農地を取り巻く環境は、厳しい状況にあります。
本郷地区でも農業者の高齢化などから、今後の農地の管理が困難になっていくことが予想されています。
そのため、本郷地区を守る会では、地域農業の継続のために様々な活動を行っております。

まず一つとして、「田植え体験」を実施しています。
これは、今後の地域を担っていく子供たちに農業について楽しく知ってもらおうと思い始めました。

この活動では地域の小学生を対象に昔ながらの手で植える田植えと手鎌を使った刈り取り作業を体験してもらっています。参加してもらった子供たちからは、「田んぼの中はヌルヌルして歩きにくくて転んで泥だらけになってしまったが、土が柔らかくて気持ち良かった」、「鎌を使うのは最初は難しかったが、うまく刈れると楽しかった。また来年も参加したい」等の好意的な声をいただいています。



この活動を通して、子供たちに農業の楽しさを知ってもらいとともに、一人でもこれからの農地を守る一員になってくれればと思っております。



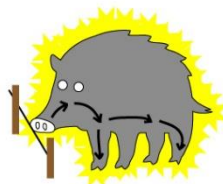
また、現在農業に取り組んでいる農業者のサポートとして「電気柵の設置」も行っています。

本郷地区は藤原岳に隣接している自然豊かな土地柄ですが、そのため鹿やサル、イノシシなどの鳥獣被害が多い地区でもあります。せっかく手塩にかけた米や野菜が、収穫前に食べられてしまうこともあり、農業者の耕作意欲の減退に繋がっている状況です。

そこで、鳥獣被害を減らすために一部の農地で電気柵の設置を試験的に開始しました。

その結果、他の周辺農地と比べて、鳥獣被害を大幅に減らすことができました。

今後は時間をかけてではありますが、住民と農業者で協力をしながら、地域の農地全域を目標に電気柵の設置を行っていく予定です。



本郷地区を守る会はこれからも地域の農地を守るため、地域が一丸となって様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

水田を活用した雨水貯留で地域を守ろう！

「田んぼダム」を三重県に！

1 自主防災活動が地域を守ります。

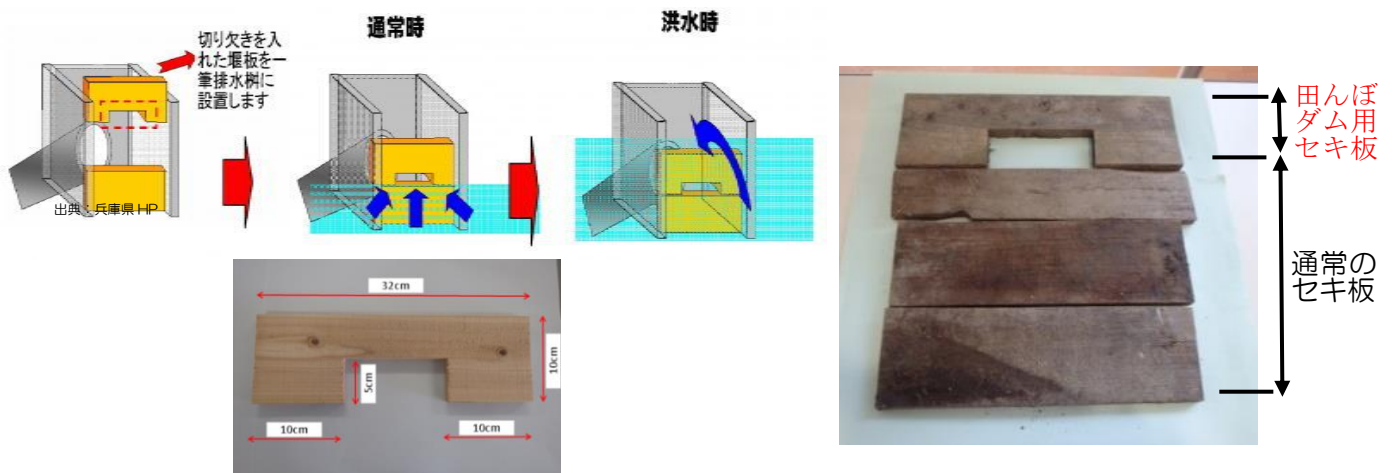
近年、局地的豪雨等の発生が増えており、洪水の被害も発生しています。河川改修等のインフラ整備だけでなく、避難訓練やハザードマップの作成等の地域の自主防災活動が私たちの安全な暮らしのために必要となっています。

その中の一つに、地域の資源である水田を活用した雨水貯留を行う「田んぼダム」の取組があります。新潟や兵庫、福井、山形、奈良県では、早いところでは平成14年度から既に取組が行われています。



2 「田んぼダム」って何？

農業・農村の多面的機能の一つに、洪水が起きないようにする水田の機能があります。水田の一筆排水柵に、セキ板を加えることで、大雨時には、水田に雨水を一時的に貯留し、ゆっくり排水し、一度に川に流れる水量を減らすことができます。このように、田んぼがダムのような機能を有効に発揮することができます。地域にとって、洪水被害を軽減させることが期待できます。

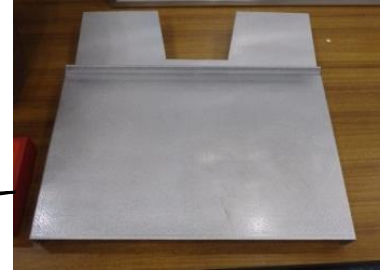


3. 営農に支障のない範囲で取り組んでみませんか！

- ・水田を対象とし、稲の生育や営農に支障のない範囲で取り組みましょう。
- ・通常のセキ板に加えて「田んぼダム用セキ板（切り欠きのある高さ10cm程度の板）」を設置します。
- ・中干し期等、営農に支障のある期間は、「田んぼダム用セキ板」を外して頂いても構いません。
- ・「田んぼダム」は、多面交付金の資源向上活動（共同）の活動項目「4.8 水田の貯留機能向上の活動」または「5.5 防災・減災力の強化」の取組として実施可能です。

4. 三重県での取組状況

- ・安濃川流域を中心に、多面的機能支払交付金を活用した田んぼダムが、令和2年度において県内3地区にて取り組まれています。
- ・令和3年度はモデル地区を選定し効果の検証を行い、令和4年度の再認定地区の活動組織から、田んぼダムの取組を県内に広げていきたい。

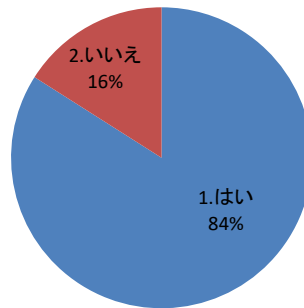
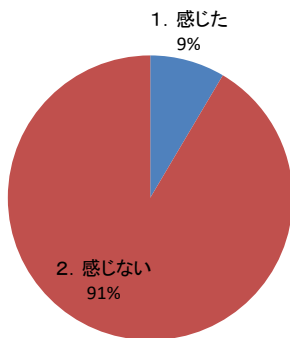


安濃町の農家の方が開発されたオリジナルの田んぼダム用セキ板。ガルバリウム鋼板でできており、木のセキ板よりも水管理が容易にできます。

5. 既に田んぼダムに取り組んでいるアンケート結果

- ・取組地区へのアンケート調査では、セキ板を設置したことで心配とされている排水柵のゴミ詰まり等による営農に支障が出たと感じたかどうかについては、「感じなかった」と回答した方が全体の91%を占めていました。
- ・今後も、84%の方が「田んぼダム」の取組に協力したいと回答していただきました。

営農に支障が出たと感じましたか？ 今後も「田んぼダム」の取組みに協力したいですか？



事務局からのお知らせ

令和3年12月25日（土）に開催を予定しておりました「第13回みえのつどい」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、昨年に引き続き中止いたします。何卒、ご理解頂きますようお願い申し上げます。

三重県を含む21都道府県に発令されておりました今月12日までの緊急事態宣言が宮城・岡山県を除く19都道府県で今月30日まで延長されました。ワクチン接種は全国で約50%に達しましたが変異株の影響でこの先まだまだ不透明な状況です。活動組織の皆様方におかれましては、今一度、感染対策を徹底して活動に取り組んで下さい。